

## MS Word による論文執筆講座（第 2 回）

森谷 友昭（編集幹事 東京電機大学）

### Guide for Writing Papers Using MS Word (the 2nd)

Tomoaki MORIYA (Tokyo Denki University)

本学会では、論文の執筆フォーマットとして Tex と (MS) Word を用意している。Word は Windows 環境では長年に渡り使用されている定番の文書作成ソフトである。しかしながら論文のように与えられたフォーマットに沿った文書を作成したい際に思い通り扱えない場合も多い。本連載では論文執筆の際覚えておくと便利な Word の操作を、毎回ピンポイントで紹介している。ちなみに本連載自体も Word にて執筆されている。

今回のテーマ：

描画キャンバスを使いこなす

本学会の Web ページにて配布している論文用 Word フォーマットでは、描画キャンバスを用いず、図と図のキャプションを表の中に入れてある。今回紹介する描画キャンバスを用いてもこのフォーマットとほぼ同等のことが実現できる。また描画キャンバス独自の便利なテクニックもあるので、是非使ってみていただきたい。

描画キャンバスは、その名の通り、配置すると透明の枠が作られ、その中に図形や画像、テキストボックスなどを自由に配置できるオブジェクトである。

メニューの[挿入]→[図形]→[新しい描画キャンバス]で文章中に描画キャンバスを追加できる。追加を行うと、現在カーソルがある位置に描画キャンバスが追加される (図 1)。

そのままでは、行内に配置され、文字と一緒に動いてしまうので、前回ご紹介したように、描画キャンバスの枠を右クリックし、[その他のレイアウトオプション]からレイアウトプロパティを開き、[文字列の折り返し]を[上下]に設定し、[位置]プロパティを設定することでページの左右上下に固定できる (図 2)。

描画キャンバス内に配置されたオブジェクトは描画キャンバスが動けば一緒に動くようになり、図と、図のキャプションをひとまとまりにすることが可能である。描画キャンバス内に画像を配置するには、クリップボードの画像であれば、描画キャンバス内で右クリック、[貼り付け]することで描画

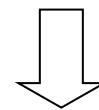
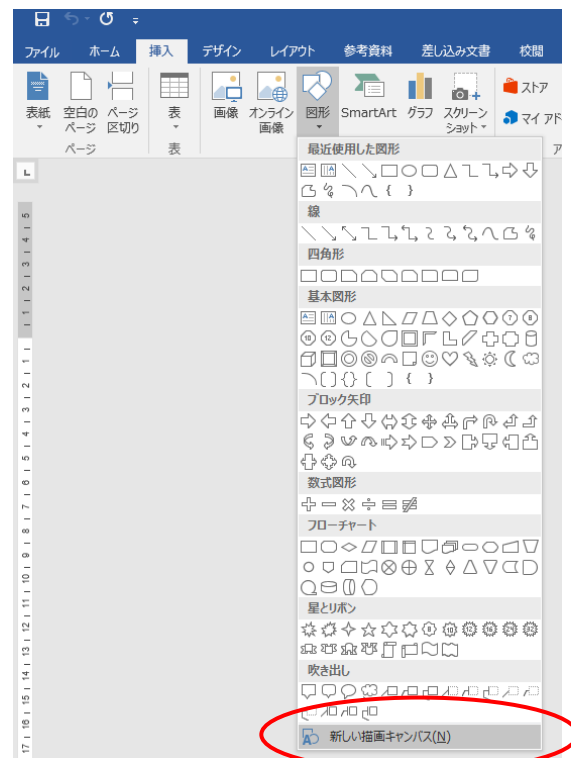


図 1 描画キャンバスの追加

Fig.1 How to add drawing canvas

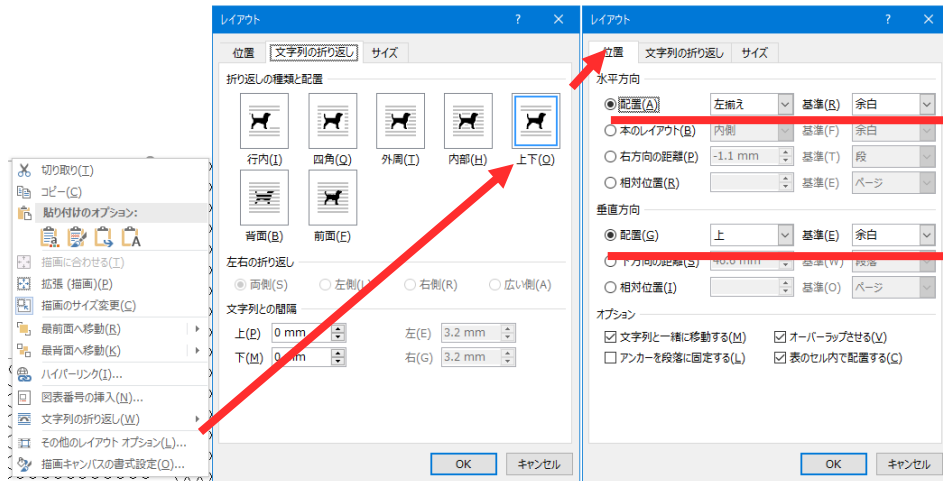


図 2 描画キャンパスの位置固定方法

Fig.2 How to fix drawing canvas position

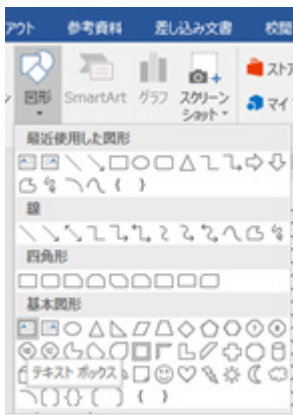


図 3 テキストボックスの追加

Fig.3 How to add text box



図 4 カラムを横断した図の例

Fig.4 An example of figure across columns

キャンパス内に配置される。文章内に配置された画像を描画キャンパス内に配置したい場合は、画像を右クリックし[切り取り]でいったん画像をクリップボードに送り、同様に描画キャンパス内で右クリック、[貼り付け]で画像は描画キャンパス内に配置される。また描画キャンパス内に図のキャプションを追加したければ、描画キャンパスを選択したまま[挿入]→[図形]→[テキストボックス]で、任意のテキストが記入できるテキストボックスを追加できるので、そこへ図のキャプションを記入すればよい(図3)、ただしデフォルトではテキストボックスには黒の枠線があるので消しておく必要がある。矢印などの図形も同様の操作で追加できる。

冒頭で描画キャンパス独自のテクニックがあると書いたが、それは、カラムを横断した図を作ることができる、ということである。例を図4に示す。本学会誌のフォーマットで

は、本文は2段組みで、2カラムとなる。例えば横長の図形や、図を横に並べて配置したい場合は、描画キャンパスの場合、描画キャンパスの大きさを調整するだけでカラムを横断した図を作ることができる。些細な事と思われるかもしれない。しかしながら、描画キャンパスを用いずに同じような図を作ると、ひとたび内容を修正すれば文章全体のレイアウトが崩れる複雑奇怪な Word ファイルの誕生となってしまう。興味のある読者はぜひトライしていただきたい。



森谷友昭 (正会員)

2007年 東京電機大学大学院先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻博士課程入学、2010年同修了。同年同大未来科学部情報メディア学科助教、現在に至る。コンピュータグラフィックスの研究に従事。ACM SIGGRAPH、電子情報通信学会各会員、本学会編集幹事。